

## 遊々の森における森林体験活動(事前学習・植樹)

遠野市及び NPO 法人遠野エコネットと締結している「琴畑水源遊々の森協定」に基づき遠野市内の小学校児童を対象に植樹体験を毎年行っています。

今年度は、琴畑川下流で生活している土淵小学校児童(4年生 11 名)を対象として行いました。また、今回は事前に森林の役割などを学習してから植樹を体験してもらおうと事前学習も行いました。

令和3年5月7日、小学校4年生の教室で事前学習を行いました。

私からの学習内容は、森林の豊かさ・森林のはたらき・森林の循環利用(伐って、使って、植える)・山の手入れ作業について、20分程度話しました。難しい内容であきらめないようにと写真を多く取り入れながらも、特に水源林としての役割、そして山に木を植えることで森林は緑のダムになるということを強く伝えました。

児童とは初対面でお互いに緊張していましたが、最後には4つほどの質問をしてくれるなど、なかなかの反応で一方通行の話しにならなかったことにホッとしました。



熱心にメモをとっている4年生

5月10日、いよいよ山での植樹活動です。

前日からの雨はやんだものの風が強く開催が危ぶまれましたが、時間が経つにつれて風も弱まったため開催されました。ミズナラの植樹で児童1人3本の割り当てで、固い土と重い唐鍬で四苦八苦しながらも、大人の協力のもと一生懸命穴を掘り、苗木を植えていました。その後、シカ食害防止チューブの設置も行い、最後は近くの沢から水を汲み、植栽後の苗に水をかけてあげて作業を終えました。

児童 11 名と少ないことが幸いか？みんな仲良しで班同士で協力している姿が立派でした。



植樹するための苗穴掘りを体験

今回の植樹活動参加者は、土淵小学校児童 11 名、引率の先生2名、NPO 法人遠野エコネット2名、遠野市農林課4名、森林管理署遠野支署6名の合計 25 名でした。

牧場跡地で木がない状態の山を再び森に戻そうと行っている活動です。児童達がこの体験を通じて水と森林・山の関係を理解し、将来大きくなった時や土淵を離れた時にも森林の大切さを思い出してもらえるよう、地域の方々と協力しながら今後も継続的に行ってきたい活動です。

ふれあい担当: 渡辺